

安

安心して勉強や運動に集中できる環境づくり
幼・小中学校教育環境改善への取り組み

町学校給食食材はすべて町外産で、毎回の検査による安全性を確認し提供しており、これまでですべて基準値以下であったとの報告を受けました。

現在の広野町での幼・小中学校の就学児童・生徒数は100人、内スクールバスの利用者

の積雪等を考慮したカリキュラムの変更等を要請し、子どもたちが安心して勉強や運動に集中できる環境づくりに取り組むよう提言しました。

分

譲地の完売に全力で取り組むこと
大吹地区分譲地

10月31日までの2次募集により町内在住者1件、町外問い合わせ6件中1件の分譲と2件の予約につながったとの説明がありました。また、3次募集では分譲地完売に向けた、分譲チラシによる折り返みやポスティングを実施することでした。

委員会としては、1人でも多く、1日でも早い帰町につながるよう分譲地の完売に向け全力で取り組むよう提言しました。

委員会報告

状況を報告します。

平成24年11月13日 開催

平成24年11月12日 開催

平成24年11月 9日 開催

委員会の活動

総務文教常任委員会

産業厚生常任委員会

東日本大震災災害復興

に関する特別委員会



友人との再会を喜ぶ新成人



力強い踊りを披露する中学生
(広蛸祭 平成24年10月27日)

町

民が望む災害公営住宅の建設を
災害公営住宅の建設

災害公営住宅の間取り等の説明と建設地において埋蔵文化財の発掘調査が必要となることから、調査は宅地造成工事と並行して行い、造成工事に影響のな

いよう進めるとの説明を受けました。各委員からは、バリアフリー対策はできているのか、間取り等を決める際に入居希望者の要望が考慮されているのか、入居資格は津波被災者だけなのか等の質疑がありました。委員会としては、被災者が望む災害公営住宅の完成に向けて努力するよう要請しました。

所

期の目的達成にさらなる努力を
農地除染

農地除染は水溶性セシウムを固定化し、作物への吸収抑制作用をするといわれているゼオライトを散布し、さらには作物根や、収穫器官への吸収移管を低減するといわれているカリを施用して、作物への放射性物質低減栽培方式を採用し、農作物からの内部被ばくの低減を図るとの説明を受けました。各委員からは、津波被災農地の除染の有無や現時点での耕作放棄地の隣接農地の除染方法など来年の作付け準備に影響を及ぼすことのないように、優先順位などを定めて行程どおり遂行するようにとの意見が出されました。委員会としては、すでに本事業は着手しており町民の期待と感心の高さから所期の目的達成のため、さらなる努力を要請しました。

平

成25年産米作付けに同意
平成25年産米の作付け

町内39カ所で作付けをした米の放射線量は、国の基準を大幅に下回ったとの報告を受けました。各委員からは、24年産米の全袋検査の結果、町で栽培された米が流通できるのであれば、来年度以降は作付けをすべきとの意見がありました。また、24年産米の実証圃の結果を消費者に分かりやすいデータで周知すべきとの

意見がだされました。町長からは来年の米の作付けに向けて、来る11月20日開催の農業委員会の結果を踏まえ、作付け宣言をしたこととの発言がありました。委員会としては、今後の広野町の農業の振興と我が町の早期復興を果たすためにも、25年産米の作付けに同意

平成25年の作付けに向けた農地除染

